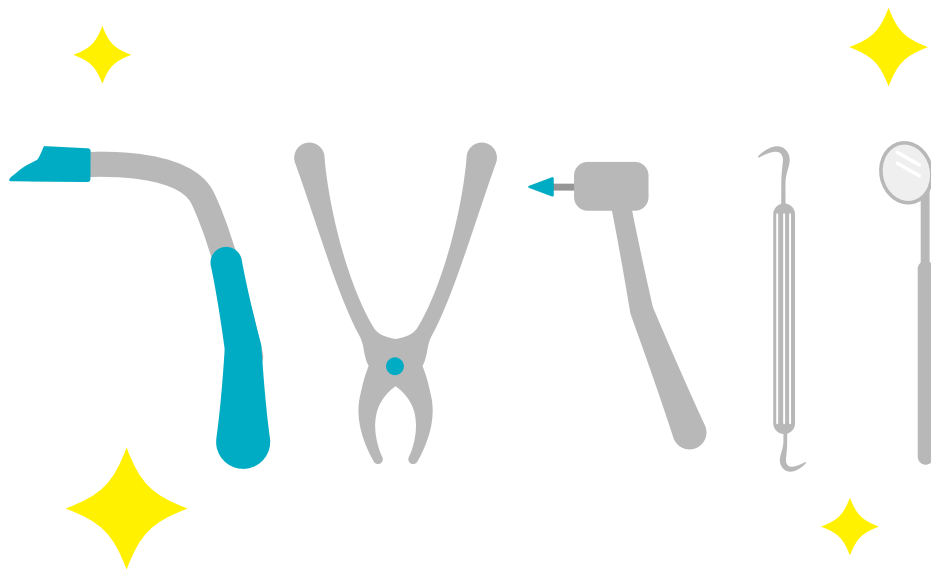


## 院内感染予防対策 を実施中

当院では、患者様に安心して治療を受けていただけるよう、  
スタッフのひとりひとりが  
院内感染防止対策の徹底に取り組んでおります。  
目に見えない菌やウイルスからの感染を防ぐため  
使用する治療器具は患者さまごとに  
**洗浄・消毒・滅菌**を実施しております。



## 感染予防に関する 大切なお知らせ

口腔内のメンテナンスで  
**感染症にかかるリスクが下がる**  
ことをご存知ですか？

お口や喉、鼻の中にある粘液は、  
ウイルスなどの侵入を防ぐ役割をしています。  
感染予防のために定期的な口腔ケアと  
日々の予防を強化しましょう。



### 「ご来院の皆様へ手指の消毒・検温のお願い」

当院では、患者さまに安心して診療を受けていただくため、  
手指の消毒・検温をお願いしております。



# お口は健康の入り口です！

さっそくチェックしてみましょう！

✓ 5つ以上なら歯科医院を受診しましょう。

## 受診チェックリスト

- 糖尿病などの全身疾患がある。  
免疫力が低下するため歯周病が悪化します。
- 口腔内の健康は全身の健康に関連性があることを知らない。  
糖尿病・心血管障害・脳梗塞・誤嚥性肺炎・早産・骨粗鬆症・自己免疫疾患・メタボリックシンドローム。歯周病と関連があるとされている全身疾患。
- 自分のブラッシングに自信がない・ブラッシングをチェックしてほしい。  
口腔内環境を良好にするためには、まずブラッシングが第一です。
- 自分の口臭が気になる・人から指摘されたことがある。  
お口の中の細菌数が多いほど口臭が強くなります。
- 歯ブラシ以外の補助的清掃用具を使用していない。(フロス・歯間ブラシ・タフトブラシなど)  
歯ブラシだけでは全体の6割程度しか汚れ、細菌は落ちません。
- 食後、食べ物が同じところにたまる・つまようじをよく使う。  
骨がやせ、歯ぐきが下がり、すき間ができ、つまりやすくなっているのかもしれない。
- 歯ぐきから出血することがある。  
歯肉炎。歯ブラシが当たっていないことにより細菌が増え歯ぐきが炎症を起こしている可能性が高いでしょう。
- 親知らず以外の歯を抜いたことがある。  
虫歯・歯周病のリスクが高いと考えられます。
- 「ケア用品」何を使ったらいいのか分からない・自分に合う物が知りたい。  
(歯ブラシのかたさ・補助的清掃用具の使用方法・サイズなど)  
歯磨き粉でもフッ素配合や殺菌効果の高いものなど口腔内の状態に合わせて選ぶことが大切です。

- 最後に歯医者に行ってから半年以上経っている。  
半年に一回はプロのチェックを受けることが望ましいでしょう。
- 歯周ポケット内の歯石(縁下歯石)を定期的に除去していない。  
縁下歯石をしっかり取ることが重要。1・2回では終わりません。
- 気になることがあるが困っていないので先延ばしにしている。  
先延ばしにすることで治療回数・費用が多くなってしまいます。
- 歯科は痛みや症状が出てから行く所だと思っている。  
早めの受診で治療→予防にいきましょう！

ネットで検索すれば色々な情報が入る時代ですが、それはあなたの口腔内を見て出た答えではありません。あなたが知りたいのは、あなただけの答えです。小さな悩みや相談でも気軽に受診してください。歯科医師・歯科衛生士と一緒にあなたの健康を守りましょう！あなたのデンタルパートナーを見つけましょう！！

✓ を入れたこのチラシをご持参ください。

ご予約・お問い合わせは

**048-710-8282**

(受診は予約制です)

【診療時間】 9:30~13:30 / 14:30~19:30

**プラムシティ武蔵浦和  
歯科クリニック**

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所7-21-1-1F



## 院内感染予防の取り組み

当院では、患者さまに安心して診療を受けていただけるように、人や医療器具を介して細菌やウイルスに感染する「交差感染」を予防する取り組みに力を入れております。



### 治療器具の滅菌処理

治療に使用する器具は患者さまに使用するごとに洗浄・殺菌・滅菌処理を徹底しています。また当院では、歯を削るドリルも患者さまに使用するごとに滅菌処理を行っております。

### 個室診療室

当院の診療室は全て個室となっております。歯科の治療では欠かせない、歯を削ったり、お水を噴射することによる「エアロゾル」を介した院内感染のリスクを最小限にすることができます。

### Disposable 製品の使用

患者さまが使用するエプロンや紙コップ、スタッフのマスクや手袋などの使い捨てにできるものは使用ごとに交換します。

### その他の取り組み

- 治療中の人数を保つように予約時間を調整
- 院内の手に触れる箇所すべての消毒液による清拭
- 消毒液の設置
- スタッフの健康管理の徹底